

T517 撤退作業計画案rev.2 (あくまで目安)

藤井芳昭

【0】条件

- ・ 14日午後5時作業開始
- ・ 15日正午時 π 2更地・計数室更地 (その後星野実験作業開始を仮定)。その後も富士・筑波大への搬出継続。
- ・ 人員配置
 - クレーン：藤井・宮田
 - トラック：藤井・宮田・竹下
 - 13日夜シフト：松永・永野・山内・(新潟3)：新潟3名は必要な時のみで、翌日17時に出てくる。
 - 14日昼シフト：竹下・伊藤・山本・(新潟3)：9時から来る。伊藤・山本は21時に引き上げて良い。
中村 (KSMX先行梱包遂行。その後空いて19時から夜遅くまで。)
 - 藤井・神前・山田・関口・内田・松本 (午後から夜遅くまで)
 - 宮田・小野・アリスト (17時から夜遅くまで。)
 - 松永・山内・永野 (前日夜シフト：19時から夜遅くまで。)
- 15日：藤井・竹下・宮田・松永・神前・伊藤・小野・アリスト・
山田・関口・内田・山本・松本・山内・永野・中村 (昼迄)

【1】手順

A) 先行作業

- ・ 新潟CAL独立読出しにあたり、SHmaxは撤去 (14日早朝?。撤去時には中村・竹下立ち会い。)
- > SHmaxはビーム停止を待たずに14日午前中に本体梱包を行なう：KSMX=中村、SSMX=竹下
SHmax関係のモジュール類は測定完了を待って梱包開始。
- ・ 14日午後1時から富士実験室スペース確保作業：藤井・内田・松本

B) ビーム停止後、以下の作業

- 1-a) 測定器への結線はずし；NEM=小野&アリスト、TEM=山田&関口、その他=山本・藤井
 - 1-b) ガス配管はずし (DC&Cerenkov) ・ボンベ返却；山内・内田
 - 1-c) 計数室回路への結線はずし；伊藤・竹下
 - 1-d) DAQ-PCシャットダウン・配線はずし；松本
 - 1-e) 架台配線はずし、カメラはずし；藤井
- 2-a) 計数室モジュール・Lemoケーブル・コネクタ類・工具・オシロ・トランシット・レベルなどを仕分け
(回路室物品用箱及び所属毎の箱へ) ；
竹下(信州物品, 終了後b)・宮田(新潟物品, 終了後b)・中村(神戸物品)・松永(筑波物品)・藤井(KEK物品)
 - 2-b) π 2内測定器解体・梱包；
NEM=小野・アリスト・宮田、TEM=山田・関口・山本・山内・永野、その他=伊藤・竹下
- 3-a) 仕分け済み物品のうちKEK-JLC物品を富士に運ぶ；藤井・松永・内田
 - 3-b) π 2<->計数室 信号・HVケーブル撤去；残り全員
- 4-a) 架台・鉄ブロックを π 2外へ撤収；藤井・宮田・小野
 - 4-b) ケーブル (信号・HV・Lemo) を富士へ運ぶ；竹下・中村・山田・関口・内田・アリスト・山内
 - 4-c) ログノートコピー (各巻5部+サブグループ独自のも、3号館で)；松永・永野・松本

15日

- 5-a) 回路室モジュールを返却；竹下・松本・内田
- 5-b) 梱包済み物品を各大学に郵送；宮田・小野・アリスト・伊藤・中村
- 5-c) 筑波大学物品を筑波大学に輸送 (KEKトラックで運ぶ物)；藤井・山田・関口
- 5-d) 筑波大への物品輸送 (普通乗用車での輸送)；車2台4人 (永野・山本・山内・松永を仮定)